

分類 番号	A15	取組 名称	宮津市域の伝統的祭礼・芸能・文化に関する調査研究とその成果公開
研究代表者：		生命環境学部（研究科）・講師	職・氏名： 松田 法子
研究担当者：			
京都府立大学（松田法子・青地伯水）			
外部分担者・協力者（河森一浩氏、大上雅穂氏、林立騎氏、古木洋平氏、管啓次郎氏、松田美緒氏）			
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名）			
京都府宮津市、宮津商工会議所			
【研究活動の要約】			
<p>平成 28 年度に引き続き、ベルンハルト・ケラーマンが明治末期に宮津を訪れて残した著作を導き、かつて存在した宮津の「茶屋町」新浜の過去と現在、宮津の祭礼・芸能について調査研究と映像による記録を行った。</p> <p>祭礼・芸能について、平成 29 年度は、特に宮津祭に関わる漁師町と新浜の行事に着目し、漁師町については老人島(冠島)参り、こぶし固め、直会、子供たちによる浮太鼓の練習、大祭を控えた季節の漁師の生活、山王社大祭(宮津祭)当日の浮太鼓・御輿・神迎え及び神送りなどの諸行事について記録した。新浜については子供たちによる浮太鼓の練習、和貴宮神社大祭(宮津祭)当日の浮太鼓などについて記録した。そのほか、北前船の文化を反映していると伝えられる「宮津節」の現在について、盆の諸行事の中で演じられる宮津節の歌や踊りについて記録した。そのほか、新浜を代表する歌い手と言われた元芸妓 S 氏、漁師町を牽引する若手漁師 H 氏などへのインタビュー、精霊船や踊り船・声明船、灯籠流しなど海と関わる盆の諸行事の記録を行った。</p> <p>現地調査やインタビューの内容は、42 分のドキュメンタリー映像作品『Sassa yo Yassa を探して—海と祭編—』としてまとめ、宮津市内での上映も実施した。</p>			
【研究活動の成果】			
<p>本調査研究の成果はまず、42 分のドキュメンタリー映像作品『Sassa yo Yassa を探して—海と祭編—』に集約される。今後、この映像を宮津市内あるいは京都府立京都学・歴史館など、文教施設での上映・展示に活用していくことが期待される。平成 29 年度は宮津市内で 10 月 28 日に本映像の上映会を含むミニシンポジウム「宮津-海、音色、声、記憶」を実施した。当日の記録の概要は松田研究室の動画チャンネルにて既に一般公開している(https://www.youtube.com/watch?v=OIWjIkZjQFo&feature=youtu.be[2018 年 3 月現在で再生回数は約 200 回])。意見交換会では、地域の小中学校、高等学校などでの上映や山王社御輿組の担ぎ手募集などに活用していきたいとの意見や要望があり、平成 30 年度以降の取り組みの中で連携していくことを話し合い、一部については既に具体的な計画に着手した。また当日は毎日新聞の取材を受けた。調査の一部は NHK「京いちにち」でも放映された。</p> <p>そのほか、新浜の元芸妓たちに取材したオーラルヒストリーをまとめた映像を別途制作し、三大学共同教養教育科目として開講されている「現代社会とジェンダー」の平成 29 年度教材としても活用した。</p>			
【研究成果の還元】			
<ul style="list-style-type: none"> ・講演「外国人芸術家がみた明治末期の宮津と茶屋町」, 宮津ロータリークラブ, 2017.11(参加者約 50 名) ・ミニシンポジウム「宮津-海、音色、声、記憶」, 京都府立大学 ACTR 成果報告会主催・報告, 2017.10(参加者約 40 名) ・講演「花街・新浜の成り立ちと変遷」, 宮津市景観フォーラム, 2017.10(参加者約 40 名) ・まちあるきツアー「新浜界限 港町に花開いた風情」, 宮津市文化的景観普及啓発事業, 2017.10(参加者約 40 名) 			

平成 29 年度 ACTR

- ・ポケットセミナー『『さっさ よ やっさ』を探して－宮津新浜の芸能文化と社会・人・まち』, 京都府立京都学・歴彩館グランドオープン記念事業, 2017.4
- ・映像作品『Sassa yo Yassa を探して－海と祭編－』(42 分) ※一般公開方法を検討中

【お問い合わせ先】 生命環境学部 (研究科) 松田研究室 講師 松田 法子

Tel:075-703-5319 E-mail: kirpinfo@kpu.ac.jp(京都地域未来創造センター)

参考 (イメージ図、活動写真等)



ミニシンポジウム「宮津-海、音色、声、記憶」の様子(2017.10.28)



映像『Sassa yo Yassa を探して -海と祭編-』の一場面